

## 12.食品と医薬品の安全

番号	内容	ベースライン値	目標値	中間値	最終値	到達度(%)	備考
12.1	主要な食中毒病原体による感染症を減少させる(10万対)						
	サルモネラ属	18(1987)	16	14(1992)	14(1999)	200	
	カンピロバクター	50(1987)	25		18(1999)	128	
	病原性大腸菌O157:H7	8(1987)	4		3(1999)	150	
12.2	サルモネラ感染症の年間発生件数を減少させる	0.7(1987)	0.5	0.45(1992)	0.5(1999)	100	
	傷みやすい食品を2時間以上冷蔵庫から出したままにせず、生肉に触れたまな板や調理器具は洗剤で洗うようにしている家庭の割合を増加させる	77(1989)	25	63(1993)	44(1999)	63	
12.3	傷みやすい食品の冷蔵 まな板の洗浄 調理器具の洗浄	70(1988)	75	72(1992-93)	72(1992-93)	40	
		66(1988)	75	65(1992-93)	71(1998)	56	
		55(1988)	75				
12.4	食品事業者規制のための推奨基準を示す新たな統一的な食品保護コードとして、Food Code 1993を採用している州の割合を増加させる						統一コードの内容を Food Code 1993とする
	Food Code 1993の採用	2(1994)	70		46(1999)	65	ベースラインの見直しあり
	Food Code 1993(採用のため)の評価			80(1994)	36(1999)		
12.5	1人の患者に複数の供給源から薬を処方することから起こり得る副作用に対し警告を与えられるように、ネットワークシステムを利用している処方薬局の割合を増加させる						
	薬局でのコンピュータ利用	95(1993)	75		98(1995)	100	
12.6	65歳以上の患者に対し、服用中の処方薬及び市販薬を、新しく薬を処方するときに確認するプライマリケア提供者の割合を増加させる		75				
	65歳以上の患者の81-100%にサービスを提供したプライマリケア提供者の割合						
	服用中の薬剤リストを修正						
	開業看護師	63(1992)	75		71(1997-98)		
	産婦人科医	64(1992)	75				
	内科医	84(1992)	75				
	家庭医	70(1992)	75				
	処方時に服薬内容を確認						

番号	内容	ベースライン値	目標値	中間値	最終値	到達度(%)	備考
	開業看護師	55(1992)	75		68(1997-98)		
	産婦人科医	60(1992)	75				
	内科医	77(1992)	75				
	家庭医	63(1992)	75				
12.7	薬剤の副作用報告のうち、重大性を認識され、自発的に直接FDAに報告されるものの割合を増加させ	69(1993)	75		65(1999)	-67	追加項目
12.8	新しく処方された薬剤について、処方者または調剤者から口頭や文書で有益な情報を提供される者の割合を増加させる		75				追加項目
	文書による情報						
	処方者から	14(1992)	75		16(1998)	3	
	調剤者から	32(1992)	75		74(1998)	98	ベースラインの見直しあり
	口頭での説明						
	処方者から				24(1998)		
	調剤者から				14(1998)		

### 13. 口腔保健

番号	内容	ベースライン値	目標値	中間値	最終値	到達度(%)	備考
13.1	1本以上の齲歯(永久歯または乳歯)のある子供の割合を減少させる						
	6-8歳の子供	54 (1986-87)	35	52 (1988-94)	52 (1988-94)	11	
	15歳の少年	78 (1986-87)	60	61 (1988-94)	61 (1988-94)	94	
a	6-8歳で高校教育未達の両親の子供	70 (1986-87)	45	66 (1988-94)	66 (1988-94)		
b	6-8歳のアメリカン・インディアン/アラスカ原住民の子供 乳歯または永久歯		45		89 (1999)		
	乳歯	92 (1983-84)					
	永久歯	52 (1983-84)					
c	6-8歳の黒人の子供	56 (1986-87)	40	50 (1988-94)	50 (1988-94)		
d	15歳のアメリカン・インディアン/アラスカ原住民の少年	93 (1983-84)	70		88 (1999)		
13.2	未治療の齲歯のある子供の割合を減少させる						
	6-8歳の子供	28 (1986-87)	20	29 (1988-94)	29 (1988-94)	-13	
	15歳の少年	24 (1986-87)	15	20 (1988-94)	20 (1988-94)	44	
a	6-8歳で高校教育未達の両親の子供	43 (1986-87)	30	44 (1988-94)	44 (1988-94)		
b	6-8歳のアメリカン・インディアン/アラスカ原住民の子供	64 (1983-84)	35		69 (1999)		
c	6-8歳の黒人の子供	38 (1986-87)	25	36 (1988-94)	36 (1988-94)		ベースラインの見直しあり
d	6-8歳のヒスパニックの子供	45 (1982-84)	25	48 (1988-94)	48 (1988-94)		ベースラインの見直しあり
e	15歳で高校教育未達の両親の子供	41 (1986-87)	25	29 (1988-94)	29 (1988-94)		
f	15歳のアメリカン・インディアン/アラスカ原住民の少年	84 (1983-84)	40		67 (1999)		
g	15歳の黒人の少年	38 (1986-87)	20	29 (1988-94)	29 (1988-94)		
h	15歳のヒスパニックの少年	45 (1982-84)	25	36 (1988-94)	36 (1988-94)		ベースラインの見直しあり
13.3	35-44歳の成人のうち、齲歯や歯周病により永久歯を喪失していない者の割合を増加させる	31 (1985-86)	45	31 (1988-94)	31 (1988-94)	0	
13.4	65歳以上の高齢者のうち、全歯を喪失している者の割合を減少させる						
a	低所得者	36 (1986)	20	30 (1993)	29 (1998:比)	44	
	年間所得15000ドル未満	46 (1986)	25	42 (1993)	41		較不能の
	年間所得が貧困レベル以下			48 (1993)	44		データ
b	アメリカン・インディアン/アラスカ原住民	42 (1991)	20		29 (1999)		追加項目
13.5	35-44歳の成人の、歯肉炎の有病率を減少させる	41 (1985-86)	30	48 (1988-94)	48 (1988-94)	-64	
a	低所得者(年間所得12500ドル未満)	50 (1985-86)	35	66 (1988-94)	66 (1988-94)		

番号	内容	ベースライン値	目標値	中間値	最終値	到達度(%)	備考
b	アメリカンインディアン/アラスカ原住民	95 (1983-84)	50		96 (1999)		
c	ヒスパニック		50				
	メキシコ系アメリカ人	74 (1982-84)		64 (1988-94)	64 (1988-94)		
	キューバ人	79 (1982-84)					
	プエルトリコ人	82 (1982-84)					
13.6	35-44歳の成人の、破壊性歯周疾患の有病率を減少させる	25 (1985-86)	15	22 (1988-94)	22 (1988-94)	30	
13.7	口腔内及び咽喉頭の癌の死亡率を減少させる(10万)						
	45-74歳男性	13.6 (1987)	10.5		10.4 (1998)	103	
	45-74歳女性	4.8 (1987)	4.1		3.4 (1998)	200	
a	45-74歳の黒人男性	29.4 (1990)	26.0		21.0 (1998)		追加項目
b	45-74歳の黒人女性	6.9 (1990)	6.9		4.6 (1998)		追加項目
13.8	永久歯臼歯の咬合面に予防的シーラント処理を行なっている子供の割合を増加させる						
	8歳の子供	11 (1986-87)	50	23 (1988-94)	23 (1988-94)	31	
	14歳の子供	8 (1986-87)	50	24 (1988-94)	24 (1988-94)	38	
a	8歳の黒人の子供	4 (1986-87)	50	11 (1988-94)	11 (1988-94)		
b	14歳の黒人の子供	3 (1986-87)	50	5 (1988-94)	5 (1988-94)		
c	8歳のヒスパニックの子供	9 (1986-87)	50	7 (1988-94)	7 (1988-94)		追加項目、ベースラインの見直しあり
d	14歳のヒスパニックの子供	6 (1986-87)	50	7 (1988-94)	7 (1988-94)		
13.9	最適濃度のフッ素が入った水道水を供給される人の割合を増加させる	61 (1989)	75	62 (1992)	62 (1992)	7	
13.10	フッ素が入った水道水を供給されていない人のうち、専門家あるいは自己による局所的または系統的なフッ素の使用を行なう者の割合を増加させる	50 (1989)	85				
	使用者の割合						
	フッ素入り歯磨き粉			94 (1990)			
	フッ素のうがい						
	6-17歳の子供			22 (1990)			
	18歳以上の成人			7.7 (1990)	7.1 (1998)		
	フッ素のサプリメント						
	2-16歳の子供			10.3 (1990)			
13.11	哺乳瓶による虫歯を予防するための授乳法を行なう両親や養育者の割合を増加させる	55 (1991)	75		65 (1998)	50	
a	高校教育未満の両親や養育者	36 (1991)	65		38 (1998)		

番号	内容	ベースライン値	目標値	中間値	最終値	到達度(%)	備考
b	アメリカンインディアン/アラブ系住民の両親や養育者	74 (1985-89)	65				
c	黒人の両親や養育者	48 (1991)	65		57 (1998)		追加項目
d	ヒスパニックの両親や養育者	39 (1991)	65		46 (1998)		追加項目
13.12	学校前プログラムとして、必要な口腔保健サービス(診断・予防・治療)のために健診や紹介、事後管理を受けた子供の割合を増加させる						
	過去1年間に歯科診療所を訪れた5歳の子供	66 (1986)	90	63 (1991)	70 (1998)	17	
a	5歳の黒人の子供	51 (1991)	90		67 (1998)		追加項目
b	5歳のヒスパニックの子供	51 (1991)	90		64 (1998)		追加項目
13.13	長期入所施設のうち、入所後90日以内に口腔健診・サービスを提供される施設の割合を増加させる		100				
	介護施設	義務化 (1990)					
	連邦刑務所						
	非連邦刑務所						
	養護(教護)施設						
	拘留所						
13.14	35歳以上の人のうち、毎年、口腔保健事業を利用する者の割合を増加させる	54 (1986)	70	61 (1993)	65	69	
a	35歳以上の無歯の者	11 (1986)	50	16 (1993)	21		
b	65歳以上の高齢者	42 (1986)	60	51 (1993)	56		
c	35歳以上の黒人	43 (1991)	60		53 (1998:比)		追加項目
d	35歳以上のメキシコ系アメリカ人	38 (1991)	60		49 (較不能の)		追加項目
e	35歳以上のアフリカ人	51 (1991)	60		56 (データ)		追加項目
13.15	口唇/口蓋裂の子供の記録や紹介について、頭蓋顔面奇形の専門家チームに連絡する有効なシステムをもつ州を増加させる						
	同定と紹介のシステム	11 (1989)	40	23 (1993)	23 (1993)	41	
	同定のシステム	25 (1989)	40	34 (1993)	34 (1993)		
	治療のための紹介のシステム	20 (1989)	40	31 (1993)	31 (1993)		
	同定、紹介、および事後管理のシステム	16 (1993)	40				ベースラインの見直しあり
13.16	ケガの危険性があるスポーツやレクリエーションの大会を提供する組織、機関、協会のうち、頭・顔・目・口の有効なプロテクターを使用することを義務付けるものの割合を増加させる		100				
	全国大学体育協会						

番号	内容	ベースライン値	目標値	中間値	最終値	到達度(%)	備考
	フットボール	義務化(1988)					
	ホッケー	義務化(1988)					
	ラグビー	義務化(1988)					
	高校フットボール	義務化(1988)					
	アマチュアホッケー	義務化(1988)					
	アマチュアアイスホッケー	義務化(1988)					
	ヘッドギアとマウスガードを使用する子供の割合						
	野球/ソフトボール						
	ヘッドギア			35(1991)	47(1998)	19	
	マウスガード			7(1991)	12(1998)	5	
	フットボール						
	ヘッドギア			72(1991)	77(1998)	18	
	マウスガード			72(1991)	76(1998)	14	
	サッカー						
	ヘッドギア			4(1991)	9(1998)	5	
	マウスガード			7(1991)	14(1998)	8	
13.17	12-24歳の男性における無煙タバコの使用を減少させる						他分野からの追加項目
	12-17歳男性	6.6(1988)	4	3.9(1993)	2.2(1998)	169	
	18-24歳男性	8.9(1987)	4	7.8(1993)	6.9(1998)	41	
a	18-24歳のアメリカンインディアン/アラスカ原住民	18-64(1986-87)	10		N.A.		

14. 母子保健

番号	内容	ベースライン値	目標値	中間値	最終値	到達度(%)	備考
14.1	乳児死亡率を減少させる(1歳未満・出生1000人対)	10.1(1987)	7	8.5(1992)	7.2(1998)	94	
a	黒人	18.8(1987)	11	16.8(1992)	14.3(1998)		
b	アメリカン・インディアン/アラスカ原住民	13.4(1984)	8.5		9.3(1998)		
c	フィリピン人	12.9(1984)	8		7.8(1998)		
d	新生児死亡率(28日未満・出生1000人対)	6.5(1987)	4.5		4.8(1998)		
e	黒人の新生児死亡率	12.3(1987)	7		9.5(1998)		
f	フィリピン人の新生児死亡率	8.6(1984)	5.2		5.2(1998)		
g	新生児期後の死亡率(28日-11ヶ月・出生1000人対)	3.6(1987)	2.5		2.4(1998)		
h	黒人の新生児期後の死亡率	6.4(1987)	4		4.8(1998)		
i	アメリカン・インディアン/アラスカ原住民の新生児期後の死亡	7.0(1984)	4		4.3(1998)		
j	フィリピン人の新生児期後の死亡率	4.3(1984)	2.8		2.6(1998)		
14.2	胎児死亡率(妊娠20週以降)を減少させる(出産(出生+死産)1000人対)	7.6(1987)	5	7.4(1992)	6.8(1998)	31	
a	黒人	13.1(1987)	7.5	13.3(1992)	12.5(1998)		
14.3	妊産婦死亡率を減少させる(出生10万対)	6.6(1987)	3.3	7.8(1992)	7.1(1998)	-15	
a	黒人女性	14.9(1987)	5	20.8(1992)	17.1(1998)		
14.4	胎児アルコール症候群の発生率を減少させる(出生1000人対)	0.22(1987)	0.12	0.67(1993)	0.67(1993)	-450	
a	アメリカン・インディアン/アラスカ原住民	4.0(1987)	2.0		5.2(1990)		
b	黒人	0.8(1987)	0.4		5.4(1993)		
14.5	低体重出生(2500g未満)や超低体重出生(1500g未満)の割合を減少させる						
	低体重出生	6.9(1987)	5	7.1(1992)	7.6(1998)	-37	
	超低体重出生	1.2(1987)	1	1.3(1992)	1.4(1998)		
a	黒人の低体重出生	13.0(1987)	9		13.0(1998)		
b	黒人の超低体重出生	2.8(1987)	2		3.1(1998)		
c	フィリピン人の低体重出生	9.0(1990)	6		9.7(1998)		追加項目
d	フィリピン人の超低体重出生	1.6(1990)	1		1.9(1998)		追加項目
14.6	妊娠中に、適切な最小限の体重増加にとどまる母親の割合を増加させる	68(1980)	85	75(1988)	75(1988)	41	ベースラインの見直しあり
14.7	重篤な妊娠合併症を減少させる(分娩100対)	22(1987)	15	15(1993)	13(1998)	129	
a	黒人	28(1991)	16		19(1998)		追加項目
14.8	帝王切開による分娩の割合を減少させる(分娩100対)	24.4(1987)	15	22.8(1993)	22.5(1998)	20	
a	初回の帝王切開による分娩	17.4(1987)	12		15.6(1998)		
b	繰り返し帝王切開による分娩(過去に帝王切開を受けた者について)	91.2(1987)	65		69.3(1998)		
14.9	母乳栄養を行なう母親の割合を増加させる						
	生後早期	54(1988)	75	56(1993)	67(1999)	62	

番号	内容	ベースライン値	目標値	中間値	最終値	到達率(%)	備考
a	低所得層の母親	34(1988)	75	38(1993)	49(1999)		ベースラインの見直しあり
b	黒人の母親	25(1988)	75	31(1993)	50(1999)		
c	ヒスパニックの母親	51(1988)	75	56(1993)	69(1999)		
d	アメリカンインディアン/アラスカ原住民の母親	47(1988)	75	51(1993)	62(1999)		
	生後6ヶ月	20(1988)	50	19(1993)	31(1999)	37	ベースラインの見直しあり
a	低所得層の母親	9(1988)	50	10(1993)	20(1999)		
b	黒人の母親	7(1988)	50	9(1993)	20(1999)		ベースラインの見直しあり
c	ヒスパニックの母親	14(1988)	50	16(1993)	29(1999)		ベースラインの見直しあり
d	アメリカンインディアン/アラスカ原住民の母親	28(1988)	50	28(1993)	27(1999)		
14.10	タバコ・アルコール・コカイン・マリファナをやめる妊婦の割合を増加させる						
	タバコ	75(1985)	90	80(1993)	87(1998)	80	
	アルコール	79(1988)	95	81(1993)	81(1993)	13	目標値20%以上の増 加より変更
	コカイン	99(1988)	100		99(1993)	0	目標値20%以上の増 加より変更
	マリファナ	98(1988)	100		97(1993)	-50	目標値20%以上の増 加より変更
14.11	妊娠第1期に分娩前ケアを受ける妊婦の割合を増加させる(出生数に対する割合)						
a	黒人女性	76.0(1987)	90	77.7(1992)	82.8(1998)	49	
b	アメリカンインディアン/アラスカ原住民女性	60.8(1987)	90	63.9(1992)	73.3(1998)		
c	ヒスパニック女性	57.6(1987)	90	62.1(1992)	68.8(1998)		
	年齢に応じた妊娠前ケアを行なうプライマリケア従事者の割合を増加させる	61.0(1987)	90	64.2(1992)	74.3(1998)		
14.12	全患者の81-100%にサービスを提供したプライマリケア従事者の割合		60				
	家族計画について質問						
	小児科医	18(1992)	60				
	業務看護師	53(1992)	60		42(1997-98)		
	産婦人科医	48(1992)	60				
	内科医	24(1992)	60				
	家庭医	28(1992)	60				
	家族計画について相談						
	小児科医	36(1992)	60				
	業務看護師	53(1992)	60		40(1997-98)		
	産婦人科医	65(1992)	60				
	内科医	26(1992)	60				
	家庭医	36(1992)	60				



番号	内容	ベースライン値	目標値	中間値	最終値	到達率(%)	備考
	妊娠中のケアに登録されている女性のうち、胎児異常の出生前診断でスクリーニングやカウンセリングを提供される者の割合を増加させる(出生数に対する割合)	29(1988)	90		51(1992)	36	
14.13	リスクに関して適切なケアを受けている妊婦や小児の割合を増加させる		90				
14.14	遺伝的障害や他の身体的障害について、検査や治療を受ける新生児の割合を増加させる						
14.15	州が提供する検査を受ける新生児の割合		95				
	検査が陽性で適切な治療を受けている新生児の割合		90				
	鎌状赤血球症の検査	33(1987)	90	(1990:43 89州)	(1990:43 89州)	98	
	黒人小児	57(1987)	95	(1990:9 77州)	(1990:9 77州)		
	ガラクトース血症の検査(38州)	70(1987)	95	97(1990)	97(1990)	108	
	鎌状赤血球症の治療		90	95(1990)	95(1990)		
	ガラクトース血症の治療		95	100(1990)	100(1990)		
14.16	18ヶ月以下の乳幼児のうち、適切な間隔で推奨されるフライマリアサービスを受ける者の割合を増加させ二分脊椎やその他の脊柱管欠損症の発生率を減少させる(出生10,000人対)		90				
14.17		6(1990)	3		6(1996)	0	追加項目

15.心疾患及び脳卒中

番号	内容	ベースライン値	目標値	中間値	最終値	到達度(%)	備考
15.1	冠動脈疾患死亡率を減少させる(年齢補正後10万対)	135 (1987)	100	114 (1992)	97 (1998)	109	
a	黒人	168 (1987)	115	151 (1992)	133 (1998)		
15.2	脳卒中中の死亡率を減少させる(年齢補正後10万対)	30.4 (1987)	20		25.1 (1998)	51	
a	黒人	52.5 (1987)	27		41.4 (1998)		
15.3	(透析や腎移植を必要とする)末期腎疾患の増加傾向を減少へと転じさせる(10万対)	14.4 (1987)	13.0		32.0 (1998)	-1257	
a	黒人	34.0 (1987)	30.0		75.4 (1998)		
15.4	高血圧者のうち、血圧がコントロールされている者の割合を増加させる						
	18-74歳の高血圧者	11 (1976-80)	50		23 (1988-94)	31	
a	18-74歳の男性高血圧者	6 (1976-80)	40		17 (1988-94)		
b	20-74歳のメキシコ系アメリカ人高血圧者	14 (1988-94)	50				追加項目、ベースラインの見直しあり
c	70歳以上の女性高血圧者	19 (1988-94)	50				追加項目、ベースラインの見直しあり
15.5	自分の血圧をコントロールしようと行動を起こしている高血圧者の割合を増加させる						
	18歳以上の高血圧者	79 (1985)	90	80 (1990)	89 (1998)	91	
a	18-34歳の白人男性高血圧者	51 (1985)	80	54 (1990)	57 (1998)		
b	18-34歳の黒人男性高血圧者	63 (1985)	80	56 (1990)	67 (1998)		
15.6	成人の平均血中コレステロール値を減少させる(mg/dL)						
	20-74歳	213 (1976-80)	200		203 (1988-94)	77	
	20-74歳男性	211 (1976-80)	200		202 (1988-94)	82	
	20-74歳女性	215 (1976-80)	200		204 (1988-94)	73	
15.7	高コレステロール血症(240mg/dL以上)の割合を減少させる						
	20-74歳	27 (1976-80)	20		19 (1988-94)	114	
	20-74歳男性	25 (1976-80)	20		18 (1988-94)	140	
	20-74歳女性	29 (1976-80)	20		20 (1988-94)	100	
15.8	自分の血中コレステロールの状態を認識し、目標値まで下げようと行動を起こしている高コレステロール血症者の割合を増加させる						

番号	内容	ベースライン値	目標値	中間値	最終値	到達率(%)	備考
15.9	18歳以上の高コレステロール血症者 2歳以上の者における食事からの脂肪摂取量を減 少させる National Health and Nutrition Examination	30 (1988)	60		60 (1995)	100	
	総脂肪からのカロリー摂取率	(1976-80 36 (2-74歳)	30	34 (1988-94)			
	飽和脂肪からのカロリー摂取率	(1976-80 13 (2-74歳)	10	12 (1988-94)			
	総脂肪摂取量の目標に達している者の割合	27 (1988-94)	50				追加項目、ベースラインの 見直しあり
	飽和脂肪摂取量の目標に達している者の割合	29 (1988-94)	50				追加項目、ベースラインの 見直しあり
	Continuing Survey of Food Intakes by						
	総脂肪からのカロリー摂取率	34 (1989-91)	30		33 (1996)	25	
	飽和脂肪からのカロリー摂取率	12 (1989-91)	10		11 (1996)	50	
	総脂肪摂取量の目標に達している者の割合	22 (1989-91)	50		34 (1996)	43	追加項目
	飽和脂肪摂取量の目標に達している者の割合	21 (1989-91)	50		36 (1996)	52	追加項目
15.10	肥満者の割合を減少させる(計測された身長・体重 による)						
	20-74歳	26 (1976-80)	20	(1988-94 :20歳以 上)	35	-150	
	男性	24 (1976-80)	20		34	-250	
	女性	27 (1976-80)	20		37	-143	
	12-19歳	15 (1976-80)	15		24 (1988-94)	Away	
a	20-74歳の低所得層の女性	37 (1976-80)	25		47 (1988-91)		
					(1988-94 :20歳以 上)		
b	20-74歳の黒人女性	44 (1976-80)	30		52		
c	20-74歳のヒスパニック女性		25				
	20歳以上のヒスパニック女性(自己申告による)				46 (1998)		

番号	内容	ベースライン値	目標値	中間値	最終値	到達度(%)	備考
	メキシコ系女性	39(1982-84)			50(1988-94)		
	キューバ系女性	34(1982-84)					
	プエルトリコ系女性	37(1982-84)					
d	20歳以上のアメリカン/アラスカ原住民	29-75(1984-88)	30		(1998:自己申告に45よる)		
e	20歳以上の障害者(自己申告による)	36(1985)	25		40(1995)		
f	20-74歳の高血圧を有する女性	50(1976-80)	41				
g	20-74歳の高血圧を有する男性	39(1976-80)	35				
h	20-74歳のメキシコ系アメリカ人男性	30(1982-84)	25		(1988-94:20歳以上37上)		追加項目
15.11	1日30分以上の軽度から中等度の強度の身体活動を、規則的に、できれば毎日行なう6歳以上の人口を増加させる						
	6歳以上		30				
	18歳以上						
	週5回以上行なっている者	22(1985)	30		30(1998)	100	
	週7回以上行なっている者	16(1985)	30		20(1998)	29	
a	18歳以上のヒスパニックで週5回以上行なっている者	20(1991)	25		29(1998)		追加項目
15.12	18歳以上の喫煙率(シレット)を減少させる	29(1987)	15	25(1993)	24	36	20歳以上から変更
	男性	31(1987)			26	31	
	女性	27(1987)			22(1998:比較不能のデータ)	42	
a	20歳以上で高卒以下の者	34(1987)	20		31		
b	18歳以上の工場労働者	41(1987)	20		36		
c	職業軍人	42(1988)	20		30(1998)		
d	18歳以上の黒人	33(1987)	18		25(1998:比較不能のデータ)		
e	18歳以上のヒスパニック	24(1987)	15		19		
f	アメリカン/アラスカ原住民	42-70(1979-87)	20		37		
g	東南アジア系	55(1984-88)	20		36-41(1991)		
h	生殖年齢の女性(18-44歳)				(1998:比較不能のデータ)		
i	妊娠中の女性	29(1987)	12		25		
j	経口避妊薬を服用している女性	25(1985)	10		13(1998)		
		36(1983)	10		24(1995)		

番号	内容	ベースライン値	目標値	中間値	最終値	到達度(%)	備考
15.13	過去2年以内に血圧を測定し、自分の血圧が正常であったか高かったかを述べることのできる成人の割合を増加させる						
	血圧値を知らされた人	61 (1985)	90		76 (1990)	52	
	血圧が高いか低いか正常化を述べられる人			84 (1991)	85 (1998)		
a	18歳以上のメキシコ系アメリカ人男性	69 (1991)	90		62 (1998)		追加項目
15.14	過去5年以内に血中コレステロールの検査を受けた成人の割合を増加させる						
	18歳以上	66 (1993)	75		67 (1998)		
	今までに検査したことがある	59 (1988)		71 (1993)	72 (1998)		
	過去2年以内に検査したことがある	52 (1988)		54 (1993)	57 (1998)		
	今まで						
a	18歳以上の黒人	56 (1991)	75		67 (1998)		追加項目
b	18歳以上のメキシコ系アメリカ人	42 (1991)	75		48 (1998)		追加項目
c	18歳以上のアメリカンインディアン/アラスカ原住民	46 (1991)	75		53 (1998)		追加項目
	過去2年以内						
d	18歳以上のメキシコ系アメリカ人	33 (1991)	75		38 (1998)		追加項目
e	18歳以上のアメリカンインディアン/アラスカ原住民	38 (1991)	75		42 (1998)		追加項目
f	18歳以上のアジア/太平洋諸島民	45 (1991)	75		54 (1998)		追加項目
15.15	高コレステロール血症患者のための現行管理ガイドラインに従ったコレステロール値のレベルで、食事療法や薬物療法を開始するプライマリケア提供者の割合を増加させる		75				
	食事療法開始時のコレステロール中央値 (mg/dl)	240-259 (1986)			200-219 (1992)		
	薬物療法開始時のコレステロール中央値 (mg/dl)	300-319 (1986)			240-259 (1992)		
15.16	高血圧及び/またはコレステロール 高血圧 栄養教育 血圧検診 の活動を従業員に提供する50人以上の規模の職場の割合を増加させる						
	高血圧及び/またはコレステロール	35.0 (1992)	50				
	高血圧	16.5 (1985)		29 (1992)	29 (1992)		
	栄養教育	16.8 (1985)		31 (1992)	31 (1992)		
	血圧検診			32 (1992)	16 (1995)		
15.17	コレステロール測定について推奨される精度基準に合致する臨床検査所の割合を増加させる	53 (1985)	90	84 (1987)	84 (1987)	84	

16.がん(悪性腫瘍)

番号	内容	ベースライン値	目標値	中間値	最終値	到達率(%)	備考
16.1	癌死亡率の増加傾向を減少へと転じさせる	134(1987)	130	133(1992)	124(1998)	250	
a	黒人	182(1990)	175		161(1998)		追加項目
16.2	肺癌死亡率の増加傾向を鈍化させる(年齢補正後10万対)	38.5(1987)	42	39.3(1992)	36.9(1998)	Met	
a	女性	25.6(1990)	27		27.0(1998)		追加項目
b	黒人男性	86.1(1990)	91		68.5(1998)		追加項目
16.3	女性の乳癌死亡率を減少させる(年齢補正後女性10万対)	23.0(1987)	20.6	21.9(1992)	18.8(1998)	175	
a	黒人女性	27.5(1990)	25		25.3(1998)		追加項目
16.4	子宮頸癌死亡率を減少させる(年齢補正後女性10万対)	2.8(1987)	1.3	2.7(1992)	2.3(1998)	33	
a	黒人女性	5.9(1990)	3		4.4(1998)		追加項目
b	ヒスパニック女性	3.6(1977-83)	2		2.5(1998)		追加項目
16.5	結腸直腸癌死亡率を減少させる(年齢補正後10万対)	14.7(1987)	13.2		12.0(1998)	180	
a	黒人	18.1(1990)	16.5		16.8(1998)		
16.6	18歳以上の喫煙率(カレット)を減少させる	29(1987)	15	25(1993)	24	36	20歳以上から変更
	男性	31(1987)			26	31	
	女性	27(1987)			22(1998:比)	42	
a	20歳以上で高卒以下の者	34(1987)	20		31		較不能の
b	18歳以上の工場労働者	41(1987)	20		36		タータ
c	職業軍人	42(1988)	20		30(1998)		
d	18歳以上の黒人	33(1987)	18		25(1998:比)		
e	18歳以上のヒスパニック	24(1987)	15		19		較不能の
f	アリカイン/アイン/アラス加原住民	42-70(1979-87)	20		37		タータ
g	東南アジア系	55(1984-88)	20		36-41(1991)		
h	生殖年齢の女性(18-44歳)	29(1987)	12		(1998:比)		較不能の
i	妊娠中の女性	25(1985)	10		25		タータ
j	経口避妊薬を服用している女性	36(1983)	10		13(1998)		
16.7	2歳以上の者における食事からの脂肪摂取量を減少させる				24(1995)		

番号	内容	ベースライン値	目標値	中間値	最終値	到達度(%)	備考
	National Health and Nutrition Examination						
	総脂肪からのカロリー摂取率	(1976-80 36.2(1976-80)	30	34 (1988-94)			
	飽和脂肪からのカロリー摂取率	(1976-80 13.2(1976-80)	10	12 (1988-94)			
	総脂肪摂取量の目標に達している者の割合	27 (1988-94)	50				追加項目、ベースラインの見直しあり
	飽和脂肪摂取量の目標に達している者の割合	29 (1988-94)	50				追加項目、ベースラインの見直しあり
	Continuing Survey of Food Intakes by						
	総脂肪からのカロリー摂取率	34 (1989-91)	30		33 (1996)	25	
	飽和脂肪からのカロリー摂取率	12 (1989-91)	10		11 (1996)	50	
	総脂肪摂取量の目標に達している者の割合	22 (1989-91)	50		34 (1996)	43	追加項目
	飽和脂肪摂取量の目標に達している者の割合	21 (1989-91)	50		36 (1996)	52	追加項目
16.8	2歳以上の者における複合炭水化物及び繊維を含む食物の摂取を増加させる						ベースラインの見直しあり
	1日平均摂取サーベックサイズ						
	野菜(豆類を含む)及び果実類	4.1 (1989-91)	5.0		4.7 (1996)	67	
	穀物類	5.8 (1989-91)	6.0		6.9 (1996)	550	
	「食生活指針」の目標に達している者の割合						追加項目
	野菜(豆類を含む)及び果実類	29 (1989-91)	50		35 (1996)	29	
	穀物類	40 (1989-91)	50		52 (1996)	120	
16.9	18歳以上の者のうち、日光への暴露を制限するよう な行動をとる者の割合を増加させる						
	日光暴露を制限	32 (1992)	60		27 (1998)	-18	ベースラインの見直しあり
	日焼け止めの使用	29 (1992)	60		31 (1998)	6	ベースラインの見直しあり
	防護的な衣服の着用	28 (1992)	60		24 (1998)	-13	
	人工的な紫外線避ける		60				
	癌の危険因子や、様々な検診方法の長所・短所を 含めた情報を提供しながら、禁煙や食事改善、癌 検診の推奨についてのカウンセリングを行なうプログラ 7提供者の割合を増加させる						カウンセリングの内容をよ り具体的に変更
16.10	喫煙患者	52 (1986)	75		96 (1989)		
	直腸診		75		49 (1989)		
	血便		75		56 (1989)		

番号	内容	ベースライン値	目標値	中間値	最終値	到達度(%)	備考
	直腸鏡		75	23(1989)			
	乳房触診		75	78(1989)			
	マンモグラム		75	37(1989)			
	ハップテスト		75	55(1989)			
	全患者の81-100%にサービスを提供したプライマリケア提供者の割合						
	食事/栄養計画の作成						
	小児科医		75	31(1992)			
	開業看護師		75	31(1992)	31(1997-98)		
	産婦人科医		75	19(1992)			
	内科医		75	33(1992)			
	家庭医		75	24(1992)			
	禁煙計画の相談						
	小児科医		75	19(1992)			
	開業看護師		75	20(1992)	39(1997-98)		
	産婦人科医		75	28(1992)			
	内科医		75	50(1992)			
	家庭医		75	43(1992)			
16.11	過去1-2年以内に乳房触診とマンモグラムを受けた50歳以上の女性の割合を増加させる	25(1987)	60	55(1993)	64(1998)	111	内容が40歳以上から変更
a	50歳以上のヒスパニック女性	18(1987)	60	47(1993)	60(1998)		
b	50歳以上の低所得層の女性(年間所得10000ドル未満)	15(1987)	60	39(1993)	48(1998)		
c	50歳以上の高校教育未満の女性	16(1987)	60	42(1993)	51(1998)		
d	70歳以上の女性	18(1987)	60	44(1993)	56(1998)		
e	50歳以上の黒人女性	19(1987)	60	54(1993)	62(1998)		
16.12	18歳以上の女性で、今までにハップテストを受けたことのある者の割合を増加させる	88(1987)	95	95(1993)	93(1998)	71	
a	18歳以上のヒスパニック女性	75(1987)	95	88(1993)	85(1998)		
b	70歳以上の女性	76(1987)	95	91(1993)	88(1998)		
c	18歳以上の高校教育未満の女性	79(1987)	95	91(1993)	86(1998)		
d	18歳以上の低所得層の女性(年間所得10000ドル未満)	80(1987)	95	89(1993)	86(1998)		
	18歳以上の女性で、過去1-3年以内にハップテストを受けた者の割合を増加させる	75(1987)	85	78(1993)	79(1998)	40	



番号	内容	ベースライン値	目標値	中間値	最終値	到達度(%)	備考
a	18歳以上のヒスパニック女性	66 (1987)	80	77 (1993)	75 (1998)		
b	70歳以上の女性	44 (1987)	70	54 (1993)	56 (1998)		
c	18歳以上の高校教育未満の女性	58 (1987)	75	64 (1993)	66 (1998)		
d	18歳以上の低所得層の女性(年間所得10000ドル未満)	64 (1987)	80	71 (1993)	70 (1998)		
16.13	50歳以上の者のうち、過去1-2年以内に便潜血検査を受けた者、また今までに直腸鏡検査を受けたことがある者の割合を増加させる						
	過去2年以内の便潜血検査	27 (1987)	50	30 (1992)	35 (1998)	35	
	過去の直腸鏡検査	25 (1987)	40	33 (1992)	37 (1998)	80	
	65歳以上で過去2年以内の便潜血検査			36 (1991)			
16.14	50歳以上の者のうち、過去1年以内にプライマリケア提供者を受診し、口腔、皮膚、及び直腸の診察を受けた者の割合を増加させる		40				
	口腔						
	皮膚			9 (1992)	13 (1998)	13	
	直腸診	27 (1987)		17 (1992)	16 (1998)	-4	
16.15	ハプテストが品質基準に合致するように、監視・認証を行なっている細胞学検査室の割合を増加させる	100 (1988-92)	100		100 (1993-96)	100	
	マンモグラフィ品質基準の要件に従い、マンモグラムが品質基準に合致するように、点検・認証を行なっている施設の割合を増加させる						
16.16	American College of Radiologyによる認証 マンモグラフィ品質基準令(FDA)	18-21 (1990)	100		64 (1992)	55	目標値80から変更
	所見なし						
	レベル3の所見			31.9 (1995)	56.4 (1997)		
	レベル2の所見			47.1 (1995)	28.6 (1997)		
	レベル1の所見			18.8 (1995)	13.9 (1997)		
	口腔内及び咽頭の癌の死亡率を減少させる(10万対)			2.2 (1995)	1.1 (1997)		
16.17	45-74歳男性	13.6 (1987)	10.5		10.4 (1998)	103	
	45-74歳女性	4.8 (1987)	4.1		3.4 (1998)	200	
a	45-74歳の黒人男性	29.4 (1990)	26.0		21.0 (1998)		追加項目
b	45-74歳の黒人女性	6.9 (1990)	6.9		4.6 (1998)		追加項目

### 17.糖尿病及び慢性疾患

番号	内容	ベースライン値	目標値	中間値	最終値	到達度(%)	備考
17.1	健康寿命を延長させる	64.0(1990)	62	63.7(1992)	65.2	120	
a	黒人	56.0(1990)	60	55.6(1992)	57.8(1998:比較不能の)		
b	ヒスパニック	64.8(1990)	65	64.0(1992)	66.3(ターゲ)		
c	65歳以上の高齢者(健康余命)	11.9(1990)	14	11.9(1992)	12.2(ターゲ)		
17.2	慢性疾患のために主要な日常生活活動を制限される者の割合を減少させる	9.4(1988)	8	10.6(1993)	10.0(1996)	-43	
a	低所得者						
	年間所得10000ドル未満	18.9(1988)	15		22.7(1996)		
	年間所得が貧困レベル以下				17.5(1996)		
b	アメリカンインディアン/アラスカ原住民	13.4(1983-85)	11		14.9(1994-96)		
c	黒人	11.2(1988)	9		12.5(1996)		
d	プエルトリコ住民	11.7(1989-91)	10		13.0(1994-96)		追加項目
17.3	自分の身の回りの世話を2つ以上行なうことが困難な65歳以上の高齢者の割合を減少させ、自立性を保つ(1,000人対)						
	65歳以上の者	111(1984-85)	90				
	70歳以上の者	141(1984-85)	90		163(1994-95)	-43	ベースラインの見直しあり
a	85歳以上の者	371(1984-85)	325		471(1994-95)		追加項目、ベースラインの見直しあり
b	65歳以上の黒人	132(1984-85)	98				追加項目、ベースラインの見直しあり
	70歳以上の黒人	166(1984-85)	98		218(1994-95)		追加項目、ベースラインの見直しあり
17.4	日常生活活動を制限される喘息患者の割合を減少させる	19.4(1986-88)	10	22.5(1991-93)	19.6(1994-96)	-2	
a	黒人	30.5(1989-91)	19		27.0(1994-96)		追加項目
b	プエルトリコ住民		22				追加項目
17.5	慢性的な脊椎疾患のために日常生活活動を制限される者を減少させる(1000人対)	21.9(1986-88)	19	27.3(1991-93)	27.9(1994-96)	-207	
17.6	重度の聴力障害を有する者を減少させる(1000人対)	88.9(1986-88)	82	93.6(1991-93)	85.1(1994-96)	55	
a	45歳以上	203(1986-88)	180	213.2(1991-93)	195.9(1994-96)		
17.7	重度の視力障害を有する者を減少させる(1000人対)	34.5(1986-88)	30	34.8(1991-93)	31.3(1994-96)	9	

番号	内容	ベースライン値	目標値	中間値	最終値	到達度(%)	備考
17.8	a 65歳以上 学齢期の子供のうち、重度の精神発達遅滞児を減少させる(子供1000人対)	87.7(1986-88)	70	87.4(1991-93)	84.2(1994-96)		
	IG50未満の10歳児	3.1(1985-87)	2.0		3.6(1991-92)	-45	ベースラインの見直しあり
17.9	糖尿病に起因する死亡を減少させる(年齢補正後10万対)	38(1986)	34	38(1992)	41(1998)	-75	
	黒人	67(1986)	58		76(1998)		
	a アメカンインディアン/アラサ加原住民	46(1986)	41		66(1998)		
	c メキシコ系アメリカ人	55.7(1990)	50		60.7(1998)		追加項目、ベースラインの見直しあり
	d プエルトリコ住民	40.7(1990)	42		49.1(1998)		追加項目、ベースラインの見直しあり
17.10	最も重篤な糖尿病合併症を減少させる 糖尿病患者のうち合併症のある者の割合	1.5(1987)	1.4	2.7(1992)	3.3(1998:比)	-1800	
	末期腎不全(1000人対)	2.2(1987)	1.4	2.3(1992)	2.2(1994)	0	
	失明(年齢補正後1000人対)				(1998:比較不能のデータ)		
	下肢切断(1000人対)	8.2(1987)	4.9	7.8(1992)	8.1(データ)	3	
	周産期死亡率(糖尿病と診断された女性の子供) 主要な先天性奇形	5(1988)	2				
	糖尿病による末期腎不全(1000人対)	8(1988)	4				
					(1995-98:比較不能のデータ)		
	a 糖尿病を有する黒人	2.2(1983-86)	2.0		5.7(データ)		
	b 糖尿病を有するアメカンインディアン/アラサ加原住民	2.1(1983-86)	1.9		5.4(1992)		
	糖尿病による下肢切断(1000人対)						
	c 糖尿病を有する黒人	9.0(1987)	6.1		11.7(データ)		ベースラインの見直しあり
17.11	糖尿病の発生率及び有病率を減少させる(1000人対)						
	発生率	2.9(1986-88)	2.5		3.1(1996)	-50	
	有病率	28(1986-88)	25		39(1998)	-367	
	糖尿病有病率(1000人対)						

番号	内容	ベースライン値	目標値	中間値	最終値	到達度(%)	備考
a	15歳以上のアメリカンインディアン/アラスカ原住民	69 (1987)	62		90 (1996)		
b	20-74歳のフエルトコ住民	55 (1982-84)	49				
c	20-74歳のキコ系アメリカ人	54 (1982-84)	49		66 (1994)		
d	20-74歳のキューバ系アメリカ人	36 (1982-84)	32				
e	黒人(全年齢層)	36 (1986-88)	32		51 (1998)		
17.12	肥満者の割合を減少させる(計測された身長・体重による)						
	20-74歳	26 (1976-80)	20	(1988-94:20歳以上)	(1988-94:20歳以上) 35 (上)	-150	
	男性	24 (1976-80)	20		(1988-94:20歳以上) 34 (上)	-250	
	女性	27 (1976-80)	20		(1988-94:20歳以上) 37 (上)	-143	
a	12-19歳	15 (1976-80)	15		24 (1988-94)	Away	
	20-74歳の低所得層の女性	37 (1976-80)	25		47 (1988-91)		
b	20-74歳の黒人女性	44 (1976-80)	30		(1988-94:20歳以上) 52 (上)		
c	20歳以上のヒスパニック女性		25				
	20歳以上のヒスパニック女性(自己申告による)						
	キコ系女性	39 (1982-84)			46 (1998)		
	キューバ系女性	34 (1982-84)			50 (1988-94)		
	フエルトコ系女性	37 (1982-84)					
d	20歳以上のアメリカンインディアン/アラスカ原住民	29-75 (1984-88)	30		(1998:自己申告に よる) 45		
e	20歳以上の障害者(自己申告による)	36 (1985)	25		40 (1995)		
f	20-74歳の高血圧を有する女性	50 (1976-80)	41				
g	20-74歳の高血圧を有する男性	39 (1976-80)	35				
h	20-74歳のキコ系アメリカ人男性	30 (1982-84)	25		(1988-94:20歳以上) 37 (上)		追加項目